

《健康領域：社会の健康》 基本目標 7：市民の活力があふれるまち

個別目標 7-2 「にぎわいのある地域をつくる」

構成する めざす成果	7-2-1 「商店街や企業が活発に活動している」	
	主な取り組み	大和商工会議所の活動支援、産業フェアなどのイベント支援、中小企業の起業や経営基盤安定化に向けた融資、各種展覧会の開催など
	7-2-2 「市内で働く人が増え、生き生きと働いている」	
	主な取り組み	就職活動支援セミナー等の開催、ハローワークなどと連携した就職面接会の開催、中小企業における障がい者雇用の補助、勤労者サービスセンターの支援など
	7-2-3 「地域農産物の消費が安定的に行われている」	
	主な取り組み	市民朝霧市・タやけ市などの開催支援、農産物などの品質向上を促すための品評会開催、農業用施設の整備などへの支援、援農サポーターの養成及び人手不足の農業生産者への紹介など
	7-2-4 「「大和」に多くの人々が訪れている」	
	主な取り組み	市内各所で行われる観光イベントの支援、観光PRの実施、フィルムコミッションの取り組みによる映画やドラマ撮影などの積極的な誘致、イベントキャラクター「ヤマトン」の活用など

前回の評価結果（平成 21～23 年度分）

本市における法人設立数の減少や、商店街の加入割合の低下などについては、リーマンショック以降の経済環境の悪化も1つの要因と考えられます。本市だけでは解決が難しい経済状況の中にあって、市内産業の活性化に向けては、行政として商業施策に係る基本的な方針を示しながら、地道な改善を図っていく必要があると考えます。また、県内の有効求人倍率が依然として低調に推移していることから、勤労者の雇用環境においても厳しい状況が続いていると考えられます。今後は、ハローワークや近隣自治体との連携による就職説明会の開催などこれまで取り組んできた若年者への就労支援の拡大に努めながら、女性や中高年、障がい者も含めた総合的な就労支援を積極的に進めていく必要があります。さらに、地域産業の振興や雇用の創出が期待できるNPO法人の設立などを含め、新たな事業を起こす取り組みへの支援も求められます。

本市のように市街地化が進む都市において、農業振興を併せて図っていくことは難しいものと考えられます。しかしながら、地域産業の振興にとって農業は不可欠なものであり、新鮮で良質な農作物を市民に提供するために、農業に興味を持ち、農家を支援する担い手の養成を一層進めるなど、生産環境の維持、向上に努めることが必要と考えます。同時に、市民の都市型農業への理解をより深める意識啓発を通じて地域農産物の消費拡大に努めてください。

また、地域の核となる新たなイベントの立ち上げ支援や、テレビや映画などの撮影を支援するフィルムコミッション事業の実施により市内の様々な場所や施設が紹介されることは、大和市に多くの人々を呼び込む交流人口の拡大に繋がるものと考えます。一方、これら以外にも活用可能な資源が本市には数多く存在することから、シティセールスをさらに強化できる可能性があると考えます。今後は、さまざまな資源を効果的に連携させるとともに、すべての職員が積極的にシティセールスを行うことを意識し、市民と協力しながらにぎわいのある地域の創出に努めてください。

追加の評価（平成 24～25 年度分）

市民意識調査の「買い物しやすいと思う市民の割合」が上昇し、前期基本計画における最終目標値を上回っていることは評価することができます。しかしながら、調査への回答の多くは大型チェーン店を意識していると推測されることから、数値が上昇した要因を精査し、地元の商店街が繁栄できる方策を検討してください。

市街化が進み、農業施策の拡充を図ることが難しい状況にあるにも関わらず、援農サポーターなどの事業が展開され、直売所で販売する農家の数等が維持されていることは評価することができます。

今後の施策展開に向けて

にぎわいのある地域をつくっていくにあたり、大和駅東側第4地区で進められている市街地再開発事業は、一定の効果が期待できます。その効果を最大限に生かしていくためには、先端の建築技術を駆使して造られる芸術文化ホールの音響や、アクセスの良さなどについて、開館前から市内外に積極的にPRするとともに、先行事例等を分析し、長く市民に親しまれる施設を目指しながら、魅力溢れる地域を創出していくような取り組みが求められます。

就職活動支援セミナーの開催などが行われていますが、近年、雇用の状況は厳しく、特に若年者は社会経験やコミュニケーション力など、様々な課題を抱えているケースがあると言われていています。そのため、一人ひとりの状況に応じたきめの細かいサポートなど、就労支援のあり方を検討してください。

やまと阿波おどり等のイベントは、市民に愛着を持って受け入れられています。人々が遠方からも訪れたいと感じるような独創的で魅力のある「大和市らしさ」を追求したイベントにしていくことも、まちの魅力を高める大切な要素と考えます。